

知ってる?

## 西区のむかし

西区文化協会は1981(昭和56)年の創立。創作・芸能・茶道部門に分かれて活動しており、誰でも加入できます。「にしぶんか」は創立から5年後に発刊されました。西区に密着した文化と歴史、地域に隠された趣あるエピソードを交えて、温故知新を語り継ぐ広報誌です。地域振興課(区役所4階48番窓口)でお渡ししています。



西区文化協会が発行している広報誌「にしぶんか」から、これまでの西区の歴史をひも解いていきます。  
ぜひ西区のむかしに思いをはせてみてください。

### 第12回(最終回)

やま だ いま じ  
山田 今次

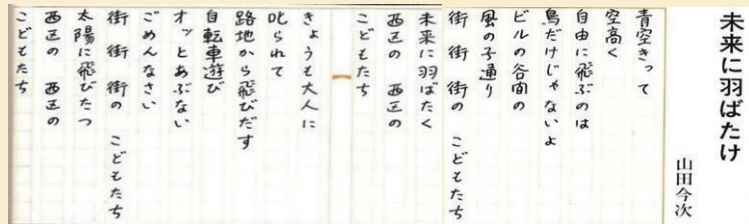
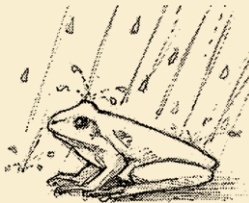
にしぶんか No.36 から

山田今次(1912～1998年)は西戸部町に生まれ、西前尋常小学校入学。ここで文芸好きの先生に出会い、のちの詩作の影響を受けました。  
また、山本周五郎が小学校の先輩だと知り、親しみを覚えたそうです。「新日本文学会」の創作部門に「あめ」が入選したのが三十六歳の時でした。  
擬音語・擬態語とリフレイン(繰り返し)の技法でリズムの良い詩を多数生み出しました。『あめ』はやや長い詩ですが、冒頭一部をご紹介します。

『あめ』

あめ あめ あめ あめ  
あめ あめ あめ あめ  
あめはぼくらを ざんざか たたく  
ざんざか ざんざか ざんざか ざんざか  
あめは ざんざん ざかざか ざかざか

後略



今次の直筆の詩「グラフィック西」(昭和56年)

1964年、市民美術団体の要望を受け、飛鳥田横浜市長から初代の横浜市民ギャラリーの館長に任命されています。  
そして、西区の子どもたちを謳った今次の直筆の詩が残されています。「山田今次 全詩集」(思潮社刊)にほとんどの詩と散文が収録されています。

今回で最終回ですが、ここで紹介できなかった作家・詩人たちを「西区ゆかりの文士たち」と題して「にしぶんか」No.36に掲載しています。地域振興課(区役所4階48番窓口)でお渡しできますのでご来庁の際にはお立ち寄りください。

問 西区文化協会事務局(地域振興課内) Tel 320-8392 fax 322-5063